

いきいき

今号のテーマは
「一生青春」

2010年もどうぞよろしく!

ピュア・サポートグループ



11月14日、【おとなの学校】&【メディカルケアセンター ファイン】を会場に当グループの文化祭を開催。「一生青春」をテーマに、お客様の作品展示やボランティア・ステージなど多彩な催しを繰り広げ、大勢のご参加で賑わいました。



- ①南京玉すだれ同好会の指導で皿回しに挑戦のお客様
- ②地域の方も楽しそう!
- ③元気が出るメニュー&野点も完売
- ④芸の達人揃いのボランティア・ステージ
- ⑤近隣の井出克彰様も手作り「古民家」を展示され、大好評でした
- ⑥フィナーレは【本校】太鼓部とスタッフが太鼓演奏を披露

パワーブランドへの発展

ピュア・サポートグループ代表

小山 敬子

新年あけましておめでとうございます。囃らずも、また年齢をとってしまいました。恐ろしいことに私は寅年、つまり、年女!今年さらなる一歩を踏み出したいものです。

当グループでは5ヶ年ごとに中期事業計画を立てます。平成21年度までは「はっぴいバリューチェーンの創造」をテーマに頑張ってきました。平成22年度(4月)からは新5ヶ年計画が始まります。そのテーマは「パワーブランドへの発展」。

【おとなの学校】は、当グループ以外の多くの医療法人にも支持され、山口・岡山・岐阜などで、老健サービスを学校形式にする施設が増えています。これを機に、真のブランド化へ、日本が元気になる仕事の創造へ、さらなる発展に向けて一途に進んで参ります。皆様もご存知のように「女の道は一本道」ですから。

得意の作品を披露

11月14日、「おとなの学校」は文化祭の一環として成果発表会を実施。入所・通所の生徒さん達が、習字や絵画などの作品を披露しました。万葉集を暗記している方もいて、会場のご家族や仲間もびっくり。通知表授与で村田師長は、「笑顔が満点の方をはじめ、全員が目標通りの成果を挙げられました。これから新たなことに挑戦してください！」と励ましを。皆様の目標「一生青春」は永遠に不滅です！



見事な作品を発表し、表情も晴れやか

ファイン緩和ケア病棟



時には合唱しながら和やかに交流

家族会で語り合いと音楽鑑賞

11月7日、「メディカルケアセンターファイン」の緩和ケア病棟では「家族会」を開催。県外の方を含む10名が出席されました。北野院長やスタッフの挨拶の後、栄養部手作りの軽食を囲み、亡くなった方の思い出などを語り合われた皆様。「ここで最期を迎えることが出来てよかった」「不安でいっぱいだったが、スタッフに励まされた」などの感想が寄せられました。音楽ボランティア「くまの子会」メンバーの演奏が流れる中、いつまでも話は尽きませんでした。緩和ケア病棟は療養中の方々やご家族はもちろん、悲しみや喪失感を抱いておられるご遺族へのケアも続けています。

新任医師紹介

【メディカルケアセンター ファイン】の新任医師をご紹介します。

敬意を忘れない高齢者医療を

昨年10月、【メディカルケアセンター ファイン】に着任した大野美保医師。専門は一般内科で、外来や往診に加え、【八角堂】のお客様の体調管理なども担当しています。

「以前、知人のお見舞いで【ファイン】を訪れた時、病院全体の雰囲気の良いさと緩和ケアへの熱心な取り組みに感心しました。今回、ご縁があって勤務することが出来て嬉しいです。私の母も高齢なので、お客様を診察する際は他人事とは思えません。心身の機能は低下しても、皆、人生の先輩。敬意と慈しみを持って対応したいですね」と穏やかに語る大野医師。おっとりした物腰が、受診者に安心感を与えています。また、「スタッフがよく勉強しているのに驚きました。私も負けないよう頑張りたい」と意欲を新たにしています。



医師
大野 美保

英語って楽しいね! 初の「親子英語教室」

熊 本市母子福祉センターでは11月8日、初の「親子英語教室」を開催。5組11名が参加されました。講師は米国・ニュージャージー出身のジェイソン・モーガン先生。パソコン画面で故郷の自宅や家族を見せながら話しかける先生に、子ども達もすぐに打ち解けて「何歳ですか?」など質問攻め。最初は「ハロー、マイ・ネーム・イズ」の挨拶を親子で練習し、次に音楽に合わせたリズム体操で目や鼻など全身の名称もマスター。最後はクリスマスソングを合唱し、「小さな国際人」になった子ども達。お母さん達も「英語への苦手意識がなくなったのが一番の収穫」と笑顔でした。

なお、当センターでは12月13日にロビーで「第2回ふれあいコンサート」を実施。近隣の方々やご利用者がジャズの音色を楽しまれました。また、12月20日の「クリスマスお茶会」にも多数が参加され、ビンゴゲームで盛り上がりました。



モーガン先生を囲んで自己紹介の練習

平成21年度、講座日程を記載した「センター講座案内」をご用意しています。当センター窓口及び市役所子育て支援課、各市民センター等の公共機関の窓口で配布中です。

各種相談(法律(要予約)・就職・家庭一般・医療・介護)も実施中です。ひとりで悩まず、どうぞ気軽にご利用ください。

お問い合わせ

TEL096-385-1160

FAX096-385-1379

熊本市 母子福祉センター

熊本市水前寺4-47-50



熊本市 夢もやい館

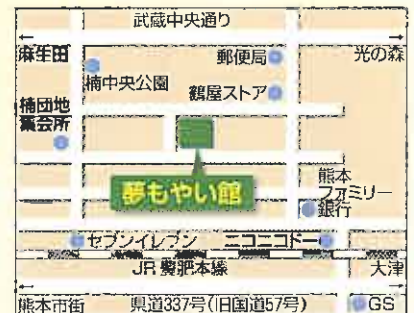
高齢者にぴったり! ヨガで心身共にリフレッシュ



体に負担をかけないヨガは高齢者にも大好評!

熊 本市 夢もやい館では、体育室を利用して数多くの運動教室を実施しています。中でも一番人気を誇るのが「ヨガ教室」(毎週火曜日・60分/回)。なんと1回200円という格安の料金で本格的なヨガ指導が受けられるとあり、毎回30~40人が参加する好評ぶりです。体に負担をかけず、ゆったりとした動きが中心のヨガは、高齢者や持病のある方にもぴったり。男性参加者も増えています。「体の柔軟性が増した」「リラックス出来る」など、効果も様々。随時

募集していますので、ご希望の方はお気軽にスタッフまで!



■住所 7862-8003 熊本市楠1-20-5-101

■電話 ☎096-338-3210

■休館日 日曜・祝祭日

熊本市“よかパパ宣言”参加 PSGスタッフが受賞!

熊本市では現在、子育てパパを応援するプロジェクトを推進。当グループもその主旨に賛同し、応援企業に名を連ねています。

また、10月11日に熊本市動物園で開催された「よかパパ宣言大会」の個人の部には、ケア・ベース勤務の川本義和が参加。子どものために出来ること、やろうと決めたことを大声で宣言し、動物園賞をいただきました。当グループは今後も、子育て支援につながる事業や活動を行ってまいります。



「動物園賞」を受賞した当グループのスタッフ

個別メニューでチーム・アプローチ



メディカルケアセンターファイン
回復期リハビリテーション病棟

【メディカルケアセンター ファイン】の回復期リハビリテーション病棟(2階)では、在宅復帰を目指す方々に、医師の処方に基づく個別のリハビリメニューを作成。病棟全体のチーム・アプローチで、ご本人やご家族の希望や笑顔を取り戻すリハビリを実施しています。

作業療法



空間認知改善のリハビリ作業療法の例



穴にピンを差し込み、上肢や指のマヒの改善へ

心 身に障害があっても「少しでも以前の状態に戻したい」「生活動作だけでなく、仕事にも復帰したい」と希望する方々に、実現へ向けたリハビリメニューを実施しています。特に、手首や指など、日常の「生活活動」(食事・更衣・整容・入浴・家事等)に必要な細かな動きが可能になるような訓練・指導を行います。

〈訓練内容例〉

- 手芸・編物・園芸・計算・物を掴むなどの作業を通じて、食べる・文字を書く・髪をとく・着替えるなど、身体機能や基本的動作を改善。お客様のADL(日常生活)の向上につなげます。

理学療法

病 気や外傷で生じた身体機能(上・下肢など)の低下や痛みなどに対して、運動や体操による訓練を行うほか、電気などの物理療法も使用。「基本的動作」(起きる・座る・立つ・歩くなど)の能力回復を図ります。

〈訓練内容例〉

- 関節可動域を広げる・マヒを改善する・筋力を強くするなど、生活に必要な基本動作の改善につながる各種訓練
 - 肺活量を大きくしたり、呼吸が楽になる呼吸訓練など
- 〈痛みへの対応〉
- 温熱療法・光線療法・マッサージ・電気治療・牽引療法・動作指導など



台からの起立を指導



立ち上がり、車椅子まで歩行訓練

365日、休まないリハビリテーション部

チーム・アプローチの中心となるリハビリテーション部では、お客様の心身の状態を把握、障害を受けた機能の改善につながる指導・訓練を行います。プログラムは体調に応じて細かな修正・見直しを行い、日誌やカンファレンス(お客様の病状や臨床所見を検討する会議)を通じて病棟スタッフと情報を共有。体調やお顔の表情、発語の有無などを観察しながら進めます。

また、朝7時からリハビリスタッフが病棟に伺い、より生活に密着した個別の指導・訓練に力を入れています。さらに、土日・祝日・年末年始もリハビリは継続。ご高齢の方は1日でも休むと機能低下につながるがあるので、365日リハビリを提供しています。

〈リハビリスタッフ〉(平成21年11月末現在)

理学療法士(PT)..... 10名
 作業療法士(OT)..... 5名
 言語聴覚士(ST)..... 2名

〈リハビリ対象の疾患例〉

■脳卒中・パーキンソン病・リウマチ・脊髄損傷・骨折・肺炎後や外科的手術の廃用障害など

CI療法

脳卒中の後遺症で、上肢にマヒがある方を対象にした新しいリハビリです。導入している医療機関はまだ少ないですが、【ファイン】では平成20年7月から実施。マヒがない側の腕や肩の動きを器具などで制限し、マヒが残る側に集中訓練(1日5時間を2週間)を行って運動の誘発を目指す治療法です。

「職場復帰したい」など、ご本人に強い意志があることが前提となります。関心のある方はぜひお問い合わせください。



マヒの残る上肢を集中的に訓練

言語聴覚療法



鏡による、口の開け方の指導 文字や絵を示して発語を促進

コミュニケーションに関する障害(失語症・構音障害・音声障害など)や、飲食の飲み込み障害がある方の改善を個別指導します。これまでの指導・訓練では認知症の方にも効果が見られ、ご家族に喜ばれています。

病棟リハビリ

病棟(2階)スタッフは、理学療法・作業療法・言語聴覚療法との連携を図りながら、「1日の活動そのものがリハビリ!」を目標に、看護師がお客様の状態を観察。看護師と共に介護福祉士、ヘルパー2級の資格を持つ看護補助者が食事・排泄・入浴介助に加えて、軽い運動や音読などをサポートします。

経管栄養でないが無理」とされた方が自分でスプーンを持って食事したり、「起きて生活するのは難しい」と診断された方が、車椅子での移動や歩行が可能になるなどの“ミラクル”も実現。ご家族も「信じられない!」と感慨ひとしおです。また、認知症の方も、ご家族のご理解と協力体制が取れば、積極的に受け入れております。



椅子に掛けて足踏み練習で筋力アップ



手すりに掴まって、起立動作の訓練

〈訓練内容例〉

- 手すりに掴まって起立運動・足踏み訓練・階段昇降訓練・テラス歩行など
- 料理・洗濯・掃除・お絞りたたみなど
- 新聞の音読・ジグソーパズル・早口言葉・大きな声で歌うなど



体操で冬を元気に過ごす!

山ノ内校区 4 町内



11月10日の山ノ内4町内いきいきサロンでは、【メディカルフィットネス ファイン】の今村健康運動指導士が簡単体操を指導。肩こりや腰痛を緩和するだけでなく、体を動かす機会の少なくなる冬場の運動不足解消にも最適とあり、「体が温まった」「家に帰ってさっそくやってみる」など、参加者に大好評でした。

相次ぐ八角堂見学

熊本市民生児童委員協会会長



11月9日、熊本市民児協会長会の高齢福祉委員会の方々14名が【八角堂】を訪れました。参加者は、2階「祈りのホール」で【カロリー庵】【はっぴいはうす】などグループ各施設の説明を受けた後、【八角堂】内を見学。熊本市を一望する立地や、ゆったりとした部屋&リビングなどに感嘆の声を上げておられました。

“本校”の授業を体験

山ノ内校区 2 町内



10月27日の山ノ内2町内ふれあいいきいきサロンでは、【おとなの学校】本校の“移動教室”を実施。言語聴覚士の白木による保健体育(膝下障害についての話)と介護部責任者の種子永の社会科(回想法)に、皆様は興味津々。特に、回想法の授業では若い頃の思い出話に花が咲き、時の経つのも忘れるほどでした。

町内の芸達者が大集合!

尾ノ上校区 3 町内



今年で19回を迎える尾ノ上3町内の「演芸の集い」が11月23日に開催され、約40組が歌、ダンス、コーラス、日本舞踊など日頃鍛えた自慢の芸を披露しました。当グループも、ボランティアスタッフがあったかいだご汁とクッキーのパザーでお手伝いしたほか、ステージにも参加。懐メロを熱唱し、大きな拍手を浴びました。

年齢に応じた栄養摂取が大切

泉ヶ丘校区 1 町内



11月16日の泉ヶ丘1町内「広木よかばいサロン」では、【メディカルフィットネス ファイン】の今村による体操指導と、【カロリー庵】平山社長の栄養講話を実施。高齢者の食事に必要な食材や適正な摂取量について説明。講話終了後には、参加者から多数の質問が寄せられ、食事や栄養に関する関心の高さを伺わせました。

体力測定で自分の体を知ろう

帯山校区



11月11日に行われた帯山校区社協主催の「ふれあい給食会」では、【メディカルフィットネス ファイン】【熊本市 夢もやい館】スタッフがお手伝いして、体力測定を実施しました。長座体前屈、開眼片足立ち、握力の3種目を行い、体の柔軟性やバランスをチェック。「自分の体を知るいい機会になった」などの感想が寄せられました。

運動で体も頭もスッキリ!

帯山校区 7 町内



11月29日の帯山7町内高齢者の集い(帯山校区社協主催)を、【ピュア・サポートグループ】が初めてお手伝い。集まった約30名の参加者を前に、【メディカルフィットネス ファイン】の今村健康運動指導士が健康体操を指導しました。手先を動かすのは、脳の活性化にもつながるとあって、どなたも熱心に取り組んでおられました。

見事な肥後菊を存分に堪能

月出校区



11月24日に行われた月出校区ふれあいサロンは、移動サロンとして【ゆいの家】に隣接する延命庵を訪れ、見事に咲き誇る肥後菊を鑑賞されました。参加された皆様は、口々に「きれい」「また来年も来たい」を連発。武徳殿に場所を移しての茶話会では、【はっぴいはうす 参番館】塚岡責任者の施設案内に聞き入っておられました。

優しい香りに癒されて

若葉校区



11月24日の若葉校区サロンは、コールセンターの上田裕紀子がアロマセラピーについての説明と実演を行いました。リラックス効果のあるアロマを使ったハンドマッサージでは、「香りを嗅ぎながらマッサージをすると気分も落ち着く」などの感想が、手軽に出来るリフレッシュ法として、参加者もアロマに強い関心を抱いておられました。



「お母さんがいなくても寂しくないよ！」(於：熊本市母子福祉センター)

NPO(特定非営利活動)法人
 **ここへおいでよ**

しっかりお預かりします！

当園保育士がグループ施設で託児

NPO法人ここへおいでよに勤務する保育士達は、【ピュア・サポートグループ】の施設で行事がある際に、グループ連携の一環として託児を担当。毎週水曜日(18:30~20:30)は、【熊本市母子福祉センター】での託児を受け持っています。講座に参加するお母さん方からも、「安心して勉強に集中出来る」と大変好評です。また、子ども達も「お友達も出来て楽しい！」とにこやか。担当する保育士も、「子ども達が喜んでくれるのが何より嬉しい」と、子育て支援に頑張っています。

新春の集いやお祝いの席に カロリ庵の“お花見弁当”

新 春の集まりや成人式、サークルやグループの会合始めなど、祝いや懇親の場が続く1~2月。予算はなるべく抑えて、安心して美味しい料理をいただきたいもの。そんな時は【カロリ庵】のお花見弁当はいかがですか。食材は県産品を基本に、生産地がはっきりしたものだけを使用。天然だしによる薄味志向の手作りが特徴なので、生活習慣病などの不安がある方にもお勧めです。また、容器は返却不要の紙製折箱なので折り畳んで処分出来ます。ぜひフリーコールでご注文ください。



花見弁当1,000円(例)
 旬のものを使うので時期により食材・献立は変更

- 料金 「お花見弁当」1,000円(配達料・税込)
 ご要望に応じて3,000円~盛り合わせも受付中
- ご注文 10個~(応相談)※遠隔地の場合、配達料が必要なこともあります
 配達の日前までにご予約ください。

有限会社 **カロリ庵**

ご注文

コールセンター(下記のフリーコール)までお気軽に

お問い合わせはフリーコール **0120-125253** でお気軽にどうぞ!

はっぴい実現委員会

入院中もみんな揃って“喜寿のお祝い”

花束を前に笑顔で記念写真



【メディカルケアセンター ファイン】の回復期リハビリテーション病棟入院中のお客様(元教師)で、喜寿を迎える方のご家族様から、「本人が一番喜ぶようなお祝いをしたいのですが」との相談が。そこで「はっぴい実現委員会」はご家族と話し合い、日時や内容を計画。ご本人には内緒で11月3日、ご親族や教え子さんなどをご招待。総勢14名の懐かしい方々の出席に涙、涙のお客様。ご家族も大感激され、ハッピーな喜寿の集いとなりました。

ご意見を真摯に受け止めます。

11月に【おとなの学校】本校のお客様(S様)のご家族から、お便りを頂戴しました。文面はご入所のお母様を想う心と、当グループの運営不備に関するご指摘でした。グループ代表の小山や本校・管理責任者は「ご指摘は当然」と受け止めて深謝。12月1日からスタッフ配置や食事介助の改善に努めています。また、ご面会の方やご家族へのお声掛けなどを密にし、信頼関係を築くことを申し合わせました。今回のご意見を有り難く受け止め、今後の糧とするために内容の要旨をご紹介します。

ご家族からのお便り S様

ピュア・サポートグループの医療・介護施設を利用して6年目。最近本校4階に入所していました。母がいる部屋は西日が射し、エアコンが不具合の時は30度を越す暑さ。しかし、スタッフの姿は見え、尿で布団が濡れてもそのまま。発熱時の対応も不満が残りました。これらは私だけの意見ではなく、4階入所者の家族を代表しての代弁です。また、これまでコミュニケーションの場として「お茶タイム」へのお誘いがありましたが、その実は『家に連れて帰れコール』的な集いで、家族は「恐怖のお茶タイム」と呼んでいました。早くどこかへ移さなければと考えていた矢先、「3ヶ月は自宅で過ごしてください」との言葉。そこで退所し、別の居宅介護施設「M」に移しました。その2週間後、そこから「お母様の様子がおかしい」との連絡。すぐに日赤病院への救急搬送をお願いし、検査の結果、母は重度の脱水症状と栄養不足ということが判明。医師から「これは1~2ヶ月ではなく数年に渡る結果」と聞き、【おとなの学校】での食事や水分補給等のケアに問題があったのではないかと感じました。今後、介護・看護のプロとして、スタッフの意識変革や改善への取り組みをお願いします。

老健施設の 設立目的

介護老人保健施設は介護保険法の指定施設として、「在宅の高齢者に心身のケアやリハビリを提供して機能改善・維持を目指し、在宅復帰を支援する」のが使命となっています。入所ご利用の場合も、特別養護老人ホーム等とは異なり、長期や無期限の入所が出来ない制度となっています。【おとなの学校】も、介護保険法を遵守しながら運営に当たっていることをご理解願えればと存じます。

「教えてくださいコール」のご案内

顧客の皆様へ

いつもピュア・サポートグループの運営にご協力いただき、誠に有り難うございます。

今回、もっと皆様のお声を運営に反映させるため、代表 小山敬子の携帯電話で直接ご連絡をお受けすることになりました。

「こんな風に改善して欲しい」「こんな事例があり、不快に感じた」「対応に不満が残った」「こんなアイデアがあるのですが」など、私達のより善いサービス提供に役立つこと、お気づきの点がございましたら、ぜひお電話ください。(留守電の場合もあるかと存じますが、留守電に内容をご連絡先を入れていただければ幸いです。後でお返事いたします)

ご連絡くださった方には、お礼として1000円分のQUO(クオ)カード(コンビニ各店で使用出来る商品券)を差し上げます。また、年間を通じて最も業務改善につながったと考えられるご意見には、3月の当グループの「事業計画発表会」時に表彰の上、副賞5万円を謹呈いたします。グループ全体のサービスがさらに向上し、ご利用者様・ご家族様・地域の皆様のご幸に貢献出来ますよう、どうぞご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

小山 敬子 携帯番号 090-3195-8500
携帯メール keiko-ourakai@docomo.ne.jp